

令和 2年度 管理事業評価調書(2年度対象)

事業コード	0820	事業名	県立病院事業			
所属名	病院事業庁経営課	評価責任者	経営課長 糟谷 良伸			
		作成責任者	山田 弘子	ダイヤルイン	052-954-6307	
政策名	県行政の円滑な運営		施策名	予算編成・執行管理を通じた健全な財政運営の確保		
事業目的	県立病院事業会計の救急医療の確保及び建設改良に要する経費等の一部を一般会計において負担する。					
根拠法令・計画等	地方公営企業法第17条の2、地方公営企業法施行令第8条の5					
従事人員・経費等	区分	予算額		決算額(C/F)		
		2年度(当初)	1年度(当初)	1年度	30年度	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	0.50人 (0人)	0.50人 (0人)	0.50人 (0人)	0.50人 (0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)
	経費	人件費(a)	5,288 千円	4,959 千円	5,156 千円	5,288 千円
		事業費(b)	8,975,649 千円	8,112,950 千円	8,632,791 千円	12,512,989 千円
		公債費(c)	0 千円	537,397 千円	17,605 千円	20,738 千円
		計(a)+(b)+(c)	8,980,937 千円	8,655,306 千円	8,655,552 千円	12,539,015 千円
	収入のうち、受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	経費のうち、一般財源等		8,980,937 千円	8,655,306 千円	8,655,552 千円	12,539,015 千円
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>県立病院事業会計の救急医療の確保及び建設改良に要する経費等の一部を一般会計において負担するものです。</p> <p>負担金(繰出) 8,996,387千円(8,112,950千円)</p> <p>(救急病院 885,668千円(救急医療の確保に要する経費)</p> <p>建設改良 2,144,965千円</p> <p>保健衛生行政 1,449,427千円(うち、研究所運営に要する経費 956,133千円)</p> <p>精神医療 746,720千円</p> <p>高度医療 1,659,786千円</p> <p>小児医療 640,143千円</p> <p>共済追加費用等 1,469,678千円)</p>					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式／解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	ICU緊急入院患者数	最終目標	100人	
				2年度	100人	100人 (見込)
				1年度	95人	156人 (実績)
		2	がんセンターにおける研究所と病院との連携研究数	最終目標	49件	
				2年度	49件	58件 (見込)
				1年度	49件	52件 (実績)
		3	県民当たりコスト(PL経常費用/本県人口)	最終目標	—	
				2年度	—	(見込)
				1年度	—	1,074円 (実績)
	4		最終目標		(見込)	
					(実績)	
	5		最終目標		(見込)	
					(実績)	
	外部要因等	なし				
目的の達成に関する評価	<p>B: 目標超過達成 (判断の理由)</p> <p>主要な指標: 2(理由: 目標設定した指標の中で最も多くの負担金を受入れている項目に係る指標のため)</p> <p>・一般会計からの負担金により、政策医療であるあいち小児保健医療総合センターの救急医療の体制強化や、がんセンター研究所における臨床応用研究を推進したことにより1及び2の両指標の目標を達成した。</p>					
コスト指標の増減分析	1年度の県民当たりコストは負担金の受入額が減少したことにより、30年度の1,192円に比べて118円減少した。					
課題	県民の医療ニーズを踏まえた、救急医療・高度先進医療などの政策医療を提供するため、一層の診療機能の充実・強化に取り組む必要がある。					
今後の方向性	今後も引き続き、県立病院として求められる医療を着実に提供していく。					

*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。